

支援センター名	風連町体験活動ボランティア活動支援センター
所在地	〒098-0505 北海道上川郡風連町南町85番地2
連絡先	Tel. 01655-3-2531 Fax 01655-3-2321 ホームページ http://www.town.fuuren.hokkaido.jp/ftvc/index.htm

事業の概要とポイント

奉仕活動・体験活動の機会や場の開拓

① 「ふうれんっ子ひろば」の実施

土曜日や日曜日、長期休業日等に子どもたちの体験活動の場「ふうれんっ子ひろば」を支援センターが実施した。

② 「都会っ子との体験交流」でのボランティアの取り組み

風連町と杉並区との子ども交流「都会っ子との体験交流」の体験活動に多くの地域住民をボランティアとして派遣した。

奉仕活動・体験活動の情報収集と提供、整理と結果の報告

支援センターが、町・学校・社会教育の行事を集約して、年間行事予定表を作成し、ホームページを利用して情報や結果等を提供した。

関係した学校・団体等の名称

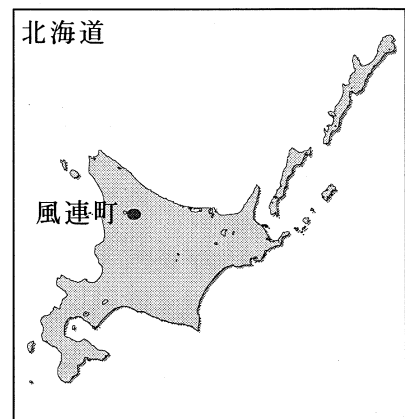
① 風連町内各小・中・高等学校（風連中央小学校、下多寄小学校、東風連小学校、日進小中学校、風連中学校、風連高等学校）

② 風連町教育委員会、風連町地域教育推進協議会、都会っ子との体験交流実行委員会、風連町父母と先生の会連合会、風連町体育協会、風連町体育指導委員会、風連スポーツクラブ「ポポ」、風連町スポーツ少年団、風連町文化協会、風連町歴史民俗資料館、運営協議会、銀嶺歌留多倶楽部、風連町瑞生大学（高齢者大学）、風連町子ども会育成連絡協議会

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 風連町 5,500人

風連町は、北海道上川支庁管内の北部に位置し、北見山地と天塩山地を望む名寄盆地の中央にあり、東西には天塩



川及び風連別川が北流し、その領域に広がる肥沃な平野には、恵まれた水利を生かした美田地帯が形成され、その東西を囲むように山林地帯が広がっている。平成13年度には、「第3次風連町生涯学習推進中期計画」を策定し、地域における生涯学習社会の実現をめざした施策を積極的に進めている。

企画から活動までの経緯

- 4月上旬 各学校・団体に平成15年度の年間予定表の提出を要請する。
 - 5月20日 第1回風連町地域教育推進協議会にて、風連町の行事予定表（各団体用と生徒児童用）を配付する。また、「都会っ子との体験交流」と「ふうれんっ子ひろば」の協力を要請した。
 - 7月 8日 第2回風連町地域教育推進協議会にて、「都会っ子との体験交流」と「ふうれんっ子ひろば」の協力を要請した。
 - 11月26日 第3回風連町地域教育推進協議会にて、「都会っ子との体験交流」と「ふうれんっ子ひろば」の協力を要請した。
 - 2月24日 第4回風連町地域教育推進協議会にて、「都会っ子との体験交流」と「ふうれんっ子ひろば」の今後について検討した。
- ① 「ふうれんっ子ひろば」
- 5月24日 **スポーツの日** 会場：B&G風連海洋センター
 - ・体育協会加盟団体と水泳少年団等のボランティアによる、水泳、バドミントン、卓球、トランポリン体験活動
 - 参加人数：約130人（大人30人含む）
 - 7月12日 **スポーツの日** 会場：B&G風連海洋センター
 - ・体育協会加盟団体と風連スポーツクラブ「ポポ」、水泳少年団、体育指導委員等のボランティアによる、水泳、卓球、バドミントン、ユニカール、輪投げ、ディスクゲッター、トランポリン、ドッジボール、フットサル体験活動
 - 参加人数：約100人（大人20人含む）
 - 8月23日 **下多寄小学校の日** 会場：下多寄小学校
 - ・高齢者大学と歴史民俗資料館運営協議会、下多寄小学校教職員等のボランティアによる、昔の遊びとゲートボール体験活動
 - 参加人数：約50人（大人20人含む）
 - 8月30日 **風連中央小PTAと児童の日** 会場：風連中央小学校
 - ・風連中央小PTAと児童の親子レクリエーション等の活動
 - 参加人数：約190人（大人90人含む）
 - 9月23日 **文化の日** 会場：風連町福祉センター
 - ・文化協会加盟団体等のボランティアによる、文化体験活動とお楽しみバラエティーショー（マジック、ピエロのバルンアート、腹話術等）
 - 参加人数：約50人（大人20人含む）
 - 10月 4日 **東風連小学校の日** 会場：東風連小学校

- ・高齢者大学と歴史民俗資料館運営協議会、東風連小学校教職員等のボランティアによる、昔の遊びとパークゴルフ体験活動

参加人数：約55人（大人15人含む）

11月29日 スポーツの日 会場：B&G風連海洋センター

- ・体育協会加盟団体と風連スポーツクラブ「ポポ」等のボランティアによる、軽スポーツ体験活動

参加人数：約90人（大人20人含む）

12月13日 日進小学校の日 会場：日進小学校

- ・銀嶺歌留多倶楽部と高齢者大学、歴史民俗資料館運営協議会、日進小学校教職員等のボランティアによる昔の遊びと百人一首体験活動

参加人数：約40人（大人15人含む）

1月18日 子ども会トランプ大会 会場：風連町福祉センター

- ・子ども会と共催による、トランプ大会

参加人数：約85人（大人20人含む）

② 「都会っ子との体験交流」

7月26～29日 会場：ふうれん望湖台自然公園等

- ・風連町と杉並区の小学生による、キャンプ、炊事、秘密基地作り、水上スポーツ、パークゴルフ、虫取り等の生活体験・自然体験等の体験活動へのボランティアを派遣

ボランティア人数：53人

12月26～29日 会場：砂川少年自然の家、ぴっぷスキー場、風連町福祉センター等

- ・風連町と杉並区の中学生による、スノートレッキング、雪上レクリエーション、木工クラフト、スキー・スノーボード、スノーキャンドル作り、スノーモービル試乗、アイスクリーム作り、餅つき等の生活体験・自然体験等の体験活動へのボランティアを派遣

ボランティア人数：23人

事例の展開内容（特色など）

- ① 「ふうれんっ子ひろば」は支援センターが中心となり各団体等に協力を要請し、子どもたちの体験活動を学校や社会教育施設を利用しながら実施した。また、支援センターが中心となり、平成15年度より「都会っ子との体験交流」に高校生や大学生、団体等からボランティアを派遣した。
- ② 完全学校週5日制の実施に伴い土曜日の子どもたちの活動がしやすくなるように、平成14年度より支援センターが町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校や社会教育団体等の行事計画を4月に収集し、行事をひとつにまとめた予定表を作成し、関係団体や児童・生徒等に配布した。また、ホームページを開設し、子どもたちの体験活動の最新の情報や結果等を随時提供している。

企画・活動する上でのポイント、留意点など

- ① 「ふうれんっ子ひろば」は誰でも気軽に参加できるように申し込みをなくし、当日でも自由に参加できるようにしたが、子どもたちの参加人数とボランティアの人数にバラツキがあり、調整が難しかった。
- ② 支援センターのコーディネーターが各学校や団体と連携し、行事等の情報を集めることによって、「ふうれんっ子ひろば」に他の行事が重なることが少なくなり、多くの参加者が得られた。また各団体は、支援センターが作成した行事予定表やコーディネーターに情報を聞きながら、子どもたちの活動が重ならないように調整をしてきた。

評 価

住民の多くは、ボランティア活動に参加したいという意志はあるが、何をどのようにすればよいか分からずにいる。自分たちが普段していること、得意なことであれば気軽に参加でき、今まであまり参加していなかった住民の多くが活動することができた。

今後は、「ふうれんっ子ひろば」をきっかけに体験活動ボランティア活動の「個人のバンク」「団体・サークルのバンク」の更なる充実を図る必要がある。

「ふうれんっ子ひろば」の活動のようす



8月30日 風連中央小PTAと児童の日
風連中央小PTAと児童の親子レクリエーション



9月23日 文化の日
文化協会加盟団体等のボランティアによる、文化体験活動

「都会っ子との体験交流」のボランティアのようす



小学生【風連会場】：夏
瑞生大学（高齢者大学）による、参加者の朝食のイモ団子・カボチャ団子作り



中学生【風連会場】：冬
ボランティアの参加による、もちつき体験